

## パソコンで警告が出たら「サポート詐欺」に注意しましょう

 サポート詐欺とは、パソコンでインターネットを使用中に突然「ウイルスに感染している」等の警告画面や警告音が出て、それらをきっかけに警告画面上に表示されている電話番号に電話をかけさせ、偽のサポートに誘導し、サポート料金を支払わせる手口です。国民生活センターに寄せられたサポート詐欺に関する2023年度の相談件数は、2022年度同期と比べて約1.3倍に増加しており、特に**70歳以上の相談件数が大幅に増加**しています。

### 相談事例

パソコンでインターネットを利用中に突然、大音量の警告音が鳴り「ウイルスに感染した可能性がある」と警告画面が表示された。マイクロソフト社を名乗る電話番号の表示があったので電話をしたところ、外国人らしき人が出て、遠隔操作ソフトをインストールするよう指示され、パソコン内を遠隔操作で見てもらった。相手から「最近、銀行の取引をしたか」と聞かれたので、「インターネットバンキングを利用した」と告げると、ログインするよう指示された。パソコンの修理代として100円を請求されたので、インターネットバンキングの画面で送金額を100円と入力したはずが、遠隔操作によって「0（ゼロ）」を追加され、100万円に変更され送金されてしまった。

(70歳代 男性)

### 注意

- パソコンやインターネットに不安を感じる**高齢者**が被害にあっている。
- **“マイクロソフト社”を騙る連絡先**に電話をかけてしまっている。
- 新たに**インターネットバンキングで送金を指示される**ケースも発生している。

ウイルスに感染しました。今すぐこちらに連絡してください。  
XXX - XXX - XXXX



### ポイント

- パソコン利用中に突然警告画面や警告音が出ても、**慌てて画面に表示されている連絡先に電話することは絶対にしないでください。**
- 警告画面が表示されたり、万が一遠隔操作ソフトをインストールしてしまっても、指示に従わず、ご自身でパソコンの状態を確認しましょう。
- 自分で判断できない場合は周りの人に相談しましょう。
- 不安に思ったり、トラブルが生じたりした場合は、**最寄りの消費生活相談窓口や警察に相談**しましょう。

### 相談室

- ◆ 愛媛県内の全ての市町に「消費生活相談窓口」が設置されています。
- ◆ 愛媛県消費生活センターでも消費生活に関する相談を受け付けております。



消費者庁 消費者ホットライン188イメージキャラクター  
「イヤヤン」

## 消費者ホットライン 188

(最寄りの消費生活相談窓口につながります。)

又は 愛媛県消費生活センター 089-925-3700(相談専用)